

# 第7回 熊本県市町村合併推進審議会の概要について

## 1. 確認された事項

- ・ 審議会委員の任期満了による改選後初めての会議であり、会長には、前任期に引き続き、中川義朗委員が選任された。
- ・ 会長から、会長職務代理者に今里佳奈子委員が指名された。

## 2. 主な意見等

### ◆第6回合併推進審議会開催後の主な動きについて

- ・ 県のこれまでの住民説明や町議会への説明等の努力に対して敬意を表する。
- ・ 熊本市を中心とする政令指定都市を実現させて欲しい。  
また、特に小規模町村については、合併のメリットを強調しつつ、関係自治体と連携を図り、市町村合併を推進して欲しい。

### ◆合併効果の検証結果について

- ・ 合併効果の検証は、引き続き、継続して実施し、広く周知していくことが必要である。

### ◆今後の進め方等について

- ・ 市町村合併を推進するに当たっては、合併後の市町村の明るい見通しを織り込みながら必要性等について説明していく必要がある。
- ・ 構想に具体的な組合せを示すことについては、各地域によって状況が異なり、タイミング、やり方によっては合併がストップすることにもなりかねないので、関係市町村の意向を尊重しながら合併を進める必要がある。
- ・ 合併新法の期限を踏まえて、県と関係市町村が連携し、住民の視点に立った合併のメリット、より良いまちづくりのためにという考えのもとに、第3次合併推進構想の早期策定に向けて検討を進めて欲しい。